

各會社の建設費より平均單價を査定し更に物價指數により終戰時單價を求めこれに被害數量を乘じて算定した。

區分	數量	被害額(千円)	單價(円)	被害率(%)
線路	二八七・六軒	一五、一一〇	四六、〇〇〇	三・六
橋梁	四〇ヶ所	一、八八〇	四七、〇〇〇	〇・六
信號線路	三四七、四三四軒	一、二九七		
信號機	一九五基			
聯動裝置	七七基			
閉塞器	一九臺			
合計		一六、四〇七		

2. 内務省關係(内務省國土局河川課調)

河川工事用各種軌條につき各都道府縣及出張所に照會して得た被害亘段と被害額(終戰時價額)を夫々合計してこれを求め、亘長八七三米、被害額一、二千圓を得た。

以上鐵道及軌道の被害總額は左の如くである。

區分	官有		私有		合計	
	數量	被害額(千円)	數量	被害額(千円)	數量	被害額(千円)
鐵道	一	八八、〇五七	一		一	八八、〇五七

區分	官有		私有		合計	
	數量	被害額(千円)	數量	被害額(千円)	數量	被害額(千円)
私鐵	一		一	一六、四〇七	一	一六、四〇七
河川工事用	一	一一	一		一	一一
合計	一	八八、〇六八	一	一六、四〇七	一	一〇四、四七五

八、諸 車

ここに諸車とは鐵道車輛、自動車（小型自動車、オートバイを含む）及營業用荷牛馬車等を云ふ。

1. 鐵道車輛

(一) 運輸省關係（運輸省大臣官房企畫課經）

(1) 國鐵關係（運輸省鐵道總局調）

各種車輛毎に年度別臺帳價格を物價指數により終戦時價格に換算し一車當りの平均單價を算出し更に經過年數による償却額を差引いて被害總額を算定した。

尙被害程度により廢車を一〇〇%、中破以上を二五%、小破を五%、中小破を二〇として被害單價を査定した。

區分	數量(輛)	被害額(千円)	單價(円)	被害率(%)
機關車	八九一	一二、七四二	一〇九、三六〇	一四
廢車	一七	一、八五九	一〇九、三六〇	
中破以上	二七九	七、六二八	二七、三四〇	
小破	五九五	三、二五五	五、四七〇	一九
廢車	二、二二八	四〇、七四七	一八、〇五〇	
中破以上	九一三	三四、七四〇	三八、〇五〇	
小破	四六一	四、三八四	九、五一〇	
廢車	八五四	一、六二三	一、九〇〇	

區分	數量(輛)	被害額(千円)	單價(円)	被害率(%)
電車	五六三	一一、〇三六	五五、六一〇	二六
廢車	三六一	二〇、〇七五	一三、九〇〇	
中破以上	三六	五〇〇	二、七八〇	
小破	一六六	四六一	二、七八〇	八
廢車	九、五五七	一一、一一〇	五、七七〇	
中破以上	二、一九〇	一一、六三六	一、一四〇	
小破	七、三六七	八、四八四	一、一四〇	
廢車	一三、二二九	九五、六四五	一、〇六五	
合計				一〇

(2) 私鐵關係（運輸省陸運監理局調）

終戦時に於ける各車種別の平均單價を求め、これに被害車輛數を乗じて被害額を算出た。但し大破（廢車程度のもの）のものは單價の一〇〇%、中破のものは二五%、小破のものは五として計上した。

車種別	被害區分	數量(輛)	被害額(千円)	單價(円)
機關車	大破	五〇	一、七二九	六五、六一六
	中破	一三三	一、五〇九	一六、四〇四
	小破	一〇〇	一六四	三、二八二
	廢車	一七	五六	一、〇六五
客車	大破	三五	一、一四三	三〇、四四〇
	中破	五四	一、一四三	
	小破	一七	五六	
	廢車	一	一、〇六五	

合計	電車			貨車		
	小	中	大	小	中	大
	破	破	破	破	破	破
二、六七八	一一	一三三	二、一三三	一一	一三三	二、一三三
六七、九七五	一七	一七	六三、四〇六	一七	一七	六三、四〇六
	七、六〇八	一、五二〇	三八、九二七	七、六〇八	一、五二〇	三八、九二七
	二〇	一一三	二、一四一	二〇	一一三	二、一四一
	二八九	一、一四〇	一、九四六	二八九	一、一四〇	一、九四六
	五、七七〇	一、五六四	一、六九七	五、七七〇	一、五六四	一、六九七
	九、七三〇	六九五	六九五	九、七三〇	六九五	六九五
	三、八〇六	六〇、五七〇	二、一四一	三、八〇六	六〇、五七〇	二、一四一
	一、五二〇	二、一三三	二、一三三	一、五二〇	二、一三三	二、一三三
	七、六〇八	一、五二〇	二、一三三	七、六〇八	一、五二〇	二、一三三

(二) 内務省關係(内務省國土局河川課調)

河川工事用機關車(官有)の被害數量及被害額を各地方に照會して得た數字を合計して總額を求めた。  
 被害數量 四輛  
 被害額 二二、二千圓

(三) 逓信省關係(逓信省總務局總務課調)

以下は郵便用の鐵道車輛で終戦時適正價格を想定して算出した。

區分	官有		私有		合計	
	臺數(臺)	被害額(千圓)	臺數(臺)	被害額(千圓)	臺數(臺)	被害額(千圓)
鐵道用郵便車	四	四〇〇			四	四〇〇
電動車	二〇	八〇〇			二〇	八〇〇
計	二四	一二〇〇			二四	一二〇〇

2. 自動車その他

(一) 運輸省關係(運輸省陸運監理局調)

官有及び私有に分け各地方別の被害量を照會調査によつて求め、これを終戦時適正價格により評價し被害總額を求めた。

(1) 官有自動車

これは更に官廳用自動車及省營運送事業用自動車に分け夫々につき調査し被害額を求めた。  
 イ、各官廳用自動車(運輸省陸運監理局調)

各地方別に照會調査を行ひ被害額を求め終戦時適正價格で評價被害額を算出した。



被害率 (%)	計	九州	四國	中國	近畿	關東	東海	東北	北海道	地方別						
										乗合自動車	貨物自動車	乗用自動車	計			
一一・五	一、九四二	一、三三四	一、四〇〇	一、六九五	三、九七三	九、一三〇	二、五〇〇	四、〇〇三	一、九四二	二、六三三	七、〇五八	八、八七三	五、五五〇	二、二〇〇	一九、一九七	二、七二一

口、鐵道小運送用貨物自動車（運輸省陸運監理局調）  
 各官廳用自動車の被害額算定方法と同様にしてこれを求めた。

北海 道	地方別		型		合		
	大	小	被害額 (千圓)	被害額 (千圓)	被害額 (千圓)	被害額 (千圓)	
八	八	六	四	五	二〇	一三	八四

計	九州	四國	中國	近畿	關東	東海	東北	北海道	地方別						
									乗合自動車	貨物自動車	乗用自動車	計			
八七〇	二八	六	四八	一六九	七八	五〇五	二八	二二四	二二四	四、〇四〇	二二四	一五	六〇	四三	二八四

(3) 荷牛馬車その他の運搬具（運輸省陸運監理局）  
 各地方別の照會調査を行ひ被害數量を求め終戦時適正單價をもつて總額を算出した。尙これはすべて私有である。

中 國	近 畿	東 海	關 東	東 北	北海 道	荷牛馬車		鐵道小運送關係		合					
						陸上小運搬業關係 輛數(輛)	被害額 (千圓)	輛數(輛)	被害額 (千圓)	輛數(輛)	被害額 (千圓)				
三、七六〇	六、四三六	三、四七一	六、九〇四	九八五	五〇〇	五、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七	一、〇〇七

合	小	九	四	中	近	東	關	東	北	運	そ	小	九	四
計	計	州	國	國	畿	海	東	北	道	搬	の	計	州	國
						北	越	道	海	具	他			
六七、三九三	三四、四二九	六、二九二	六〇一	一、四七七	六、二四四	四、一五八	一五、一一七	二四〇	三〇〇	一五〇		三三、九六四	一〇、四九八	四一〇
六六、六六一	一七、二一五	三、一四六	三〇一	七三九	三、一二二	二、〇七九	七、五五九	一一〇	一五〇			四九、四四六	一五、七四七	六一五
四、七八四	四、〇二八	一一二	八	一六四	七七八	三〇四	二、五九一	三五	二六			七五六	八二	一八
三、二四八	二、〇一四	六一	四	八二	三八九	一五二	一、二九六	一八	一三			一、二三四	二二三	二七
七二、一七七	三八、四五七	六、四一四	六〇九	一、六四一	七、〇二二	四、四六二	一七、七〇八	二七五	三二六			三三、七二〇	一〇、五八〇	四二八
六九、八〇九	一九、二二九	三、二〇七	三〇五	八二一	三、五一一	二、二三一	八、八五四	一三八	一六三			五〇、五八〇	一五、八七〇	六四二

九〇

(二) 經濟安定本部關係(經濟安定本部總裁官房調査課調)

消防自動車ポンプ、同手続ガソリンポンプ、警察用自動車及同オートバイ(すべて公有)につき夫々の「被害數量」に「終戦時單價」を乗じ被害額を求めた。  
終戦時單價は左の通りである。

自動車ポンプ 六、三〇〇圓 (昭和一二年以降公定價格の改訂がなかつた爲低廉である)  
手続ガソリンポンプ 二、三〇〇圓  
自動車(乗用) 二二、〇〇〇圓  
オートバイ(二輪車) 一、八七〇圓

府	縣	別	自動車ポンプ(輛)	手続ガソリンポンプ(輛)	警察用自動車(輛)	同オートバイ(輛)	合計(輛)										
富	新	神	東	千	埼	群	栃	茨	福	山	秋	宮	岩	青	北		
山	鴻	川	京	葉	玉	馬	木	城	島	形	田	城	手	森	道		
二	一	七	七	一	五	一	二	二	三	六	二	三	六	一			
			一	八	六	一	五	二									
			七	七	四	二											
			九	〇	四												
			八	〇	二												
			一	三	二												
			八	八													
			二	七													
			七	七													
			一	〇	六												
			一	七	六												
			三	七	一												
			七	七	七												
			一	三	六												
			九	三	六												
			四	九	六												

九一



(四) 遞信省關係(遞信省總務局總務課)

郵便用オート三輪車(官有)につき「被害數量」に「終戦時の適正單價」を乗じて「被害額」を求めた。  
 被害數量 五一六輛  
 被害額 一〇三三千圓

以上の總計は左の如くである。

區分	官有		公有		私有		合計	
	數量(輛)	被害額(千圓)	數量(輛)	被害額(千圓)	數量(輛)	被害額(千圓)	數量(輛)	被害額(千圓)
遞信省	三,七六二	九,七二四			三,四四九	二,八六三	一〇,一七三	三,六八七
鐵道	三,三三九	六,四四三			二,六六六	六,九七五	六,〇〇五	一三,〇〇〇
官廳用自動車	三五	一,八二〇					三五	一,八二〇
省營運送用自動車	三三	二,二五九					三三	二,二五九
民營運送用自動車	二二六						二二六	
鐵道小運送用								
貨物自動車								
荷牛馬車その他								
經濟安定本部			二,三三三	一〇,九七五			二,三三三	一〇,九七五
關係自動車等								
內務省關係	三〇	一,六	六	一〇			三六	一,一六
鐵道省關係	二四	三三					二四	三三
自働車	二六	一,一					二六	一,一
遞信省	五〇〇	二,三三三	六	一〇			五〇六	二,三三三
鐵道省	二四	一,一〇〇					二四	一,一〇〇
合計	一四,三三三	一〇,一三三	二,三六六	一〇,八七五	三,四四九	二,八六三	二〇,〇〇八	三〇,一六六

オートバイ	五二六	一,〇三一					五二六	一,〇三一
合計	一四,三三三	一〇,一三三	二,三六六	一〇,八七五	三,四四九	二,八六三	二〇,〇〇八	三〇,一六六